

中田久恵 選 投稿数15首

うぐいすの声聞きほれて草引の手元休める今朝のどけき
 (評) ふういに春を告げる鶯の朗らかな声が響き草引の手元を休めて聞きほれ、啼くそのいとおいしい命の叫びがひととき胸にしみ、美しい短歌の姿となり心の故郷が甦る様に感動した秀歌である。みじかい花の季を春の利那と詠まれたところに豊田さんの詩的表現の豊かさが示されている。根性桜満開となるとしつかり詠まれた鈴木さん「七転び八起き」と云ふ言葉が脳裏をかすめた。愛子さんお二人の幸に満ちたお姿が浮びました。はらはらと舞い散る花片に歩を止めて春の利那に深呼吸する。土砂により流されし木の地に根付き根性桜満開となる。皆野 豊田喜美恵
 古い深き結婚記念日乾杯のワインに酔ひて満ちる至福 三沢 鈴木 貞恵
 わだかまりあつてはならぬと心配りの母は静かにわれを諫めり 皆野 新井 愛子
 耕して苗植え終えし夜の雨聞きつつ眠る老いの幸せ 三沢 鈴木久良子
 人の世に無情のなかを生き来ての知り人の計ぞ花の散るらむ 皆野 関根 助市
 高低差激しき気温日変りに身をいたぶりぬ負けじと思ふ 三沢 新井 民子
 大切に箆筒の中に仕舞い置く母の手織りし形見の着物 皆野 根岸 詩子
 我知らぬ亡母の青春見つけたり桐の箆筒に矢羽根の銘仙 皆野 浅見 豊子
 八十坂を喘ぎつつ共に登り始む励まし合ひつ 皆野 井上喜美子
 全山がご神体と聞く筑波嶺のいま萌え盛り山ざくら咲く 三沢 新井 叶子
 舌癢に逝きし恩師の遺歌集を捲りある吾硬張りて来ぬ 三沢 眞下 杏子
 移り来て桜百本寄進されし主の逝くも花盛りなり 皆野 引間 万亀
 学舎のどの児も飾る花吹雪未来を託し緑き芽のぞく 三沢 長谷河光久
 新井 弘延

引間豊作 選 投稿数19句

武甲背に靈場彩どる花水木
 (評) 秩父観音霊場の草創は、七百八十年程前の文暦元年といわれている。西国の三十三観音、坂東の三十三観音、秩父の三十四観音の霊場を併せて、百観音札所としている。秩父では札所を囲む山々が水源であり、盆地中央部の独立峰「武甲山」を神体山とする古い信仰と観音信仰が融合している。巡礼は笈を背にして、菅笠、脚絆、甲掛をつけ、草鞋をはいた姿で、一カ所ごとに納札を打ちつけて巡拝した。霊場のこと「札所」と言うのも、また巡拝することを「何番を打つ」と言うのも、それによるのである。窓よぎる朝一番の岩燕 鮎をつる人のいきかふ河原かな
 下日野沢 江野 鑑子 下日野沢 引間富美子
 風船をかざして父の肩車 三沢 長谷河ソノ
 皆野 太幡真由美
 皆野 井上喜美子
 皆野 大沼シヅ子
 皆野 根岸 詩子
 山よりのまき唄流る若葉風 皆野 根岸 詩子
 三沢 新井 民子 ぶらんこや利かん坊らの競ひたる 皆野 千鶴
 皆野 関根 助市 お湿りに長き花時欣べり 下日野沢 高山 ユウ
 散策のつれづれに摘む葦かな 皆野 引間 千鶴
 皆野 佐藤 敏子
 春雷に追わるる苑の広さかな 皆野 根岸 詩子
 うぐいすが力を抜けと我に鳴く 皆野 佐藤 敏子
 花の伊豆峠煙らす雨となる 三沢 長谷河ソノ

俳句・短歌を募集
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して
 総務課へお寄せください。
 1人1句、1首に限ります。
 8日必着

1歳のお誕生日おめでとう



大翔くん
 下原区
 駒井 道夫さん
 裕美さん



芽香ちゃん
 腰区
 柴崎 直也さん
 恵美さん



心結ちゃん
 戦場・土京区
 長島 明義さん
 梨沙さん

いつも元気いっぱいヒロくん！
 ネエネとニイニと
 ずっと仲良くネ！



いつも笑顔いっぱいの
 めいちゃん。
 元気に育ってね！



翔太くん
 大湖区
 金室 宏和さん
 翼さん

お姉ちゃんといっぱい
 遊んで元気に育ってね！

可愛い心結ちゃん♡
 元気に成長してね♡
 大好きだよー！



香花ちゃん
 金崎区
 櫻井 一成さん
 菜穂子さん

香花が生まれて、また家族に
 笑顔が増えました。
 元気いっぱい育ってね。